

令和7年3月4日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
神谷 嘉栄 印

一般質問通告書

第542回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 字大添・ミサワ会地域の土砂災害のその後と周辺崖地について (1) 2023年の台風6号の強い影響を受けた同地域の土砂災害（崖崩れ）箇所が、その後どのような状況なのか説明を求める。 (2) 令和5年第530回議会定例会において、「10月に県中部土木事務所により、大添地域の一部で崖地の樹木伐採を行ったほか、現在、大添・ミサワ会地域の崖地の調査業務を行っています。」との答弁であったが、あれから樹木伐採の進捗はどうか。	
2 石嶺村長からの令和7年度 施政方針より (1) 「保護者の経済的負担を軽減するため、村立中学校に通う生徒に対し、沖縄県と本村で給食費の無償化に取り組むほか、物価高騰支援策として村立小学校に通う生徒に対して給食費値上げ分を補助してまいります。」とあった。今後、県が中学校と同様な施策を行った場合、本村の小学校に通う児童に対しても給食費の無償化に取り組む考えはあるのか、見解を求める。 (2) 「村民待望の有床病院の誘致につきましても、諸条件を整え県の公募に向けて取り組み、有床病院を核とした読谷型地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。」とあった。 ア メディカルエリア構想に至った当初からの経緯を伺う。 イ 県公募への満たさなければならないと思われる諸条件についての説明を求める。 ウ 構築を目指していくという読谷型の地域包括ケアシステムとは、どのような内容か。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
3 新聞報道による、セグロウリミバエ「緊急防除」等について (1) 農林水産省が4月上旬からウリ科の作物などを対象にセグロウリミバエのまん延を防ぐために「緊急防除」を実施することだが、その内容説明を求める。 (2) 本島内の26市町村を防除区域に、収穫された農家の作物を国の植物防疫官が検査することだが、本村も防疫区域内に含まれているのか。 (3) 本村において、直近でのゴーヤー、カボチャ、トウガンの出荷量を伺う。 (4) 寄生が確認された作物は一般家庭での栽培が多く、拡大の一因とみられているようだが、本村としての対策を伺う。	
4 本村の畜産業の現状について (1) 昨年(2024年)の11月に村民との意見交換会の席上で、畜牛農家より、「獣医の夜間診療ができなくなる可能性があるとのこと。もしも、難産の場合には自らが対応できるようにと講習会も予定されているらしいのですが、不安であります。」ということをお聴いた。そのことについて、現状説明を求める。 (2) 過去10年間の村内畜牛農家数を求める。 (3) 村内で山羊飼育を生業としている農家数を伺う。	
5 竣工から30年以上が経過した、読谷村陶芸研修所について 昨年の第539回議会定例会において、赤瓦屋根の罅割れによる雨漏りで、土の作品への影響が懸念される旨の質問をしたところ、屋根を改修していくのか、陶芸研修所をリニューアルするのか検討しておりますとのことで、教育委員会で方針を固め、庁議に附議していきたいと考えていますという旨の答弁があった。その後の進展を伺う。	